

ニホンカワウソ 世界最後の保護地

愛媛県 宇和島市



県獣ニホンカワウソ

カワウソは哺乳類イタチ科の動物で、世界中（南極、オセアニア地域などを除く）の河川・海岸などに生息し、それぞれの地域にはユーラシアカワウソ、カナダカワウソ、コツメカワウソなどがいます。その中で、日本のカワウソは「ニホンカワウソ」と呼ばれ、かつては日本中*に広く生息していました。しかし、明治以降の河川改修・水質汚染・乱獲によって減少したと考えられ、1979年以降確実な目撃例がありません。2012年には環境省レッドリストで「絶滅種」に選定されましたが、愛媛県では現在でも時々、目撃情報があることから少数が生きている可能性はあると考え「絶滅危惧種」としています！
*北海道に生息していたカワウソについては、本州、四国、九州に生息していたニホンカワウソと別という意見もあります。

宇和島市「九島」！ 世界で最後にニホンカワウソが保護された島

- 1928年（昭3）国の捕獲禁止獣に指定
- 1961年（昭36）愛媛県の天然記念物に指定
- 1964年（昭39）国の天然記念物に指定
愛媛県の県獣に指定
- 1965年（昭40）国の特別天然記念物に指定
- 1975年（昭50）愛媛県宇和島市「九島」で保護
※最後の捕獲となる
- 1979年（昭54）高知県須崎市「新荘川」で目撃
※最後の目撃とされる
- 2012年（平24）絶滅種（環境省レッドリスト）となる
※愛媛県レッドデータブックでは絶滅種としていない！



九島ではカワウソが保護された前日...保護された場所から離れた海辺でとても元気に海を泳ぐカワウソが目撃されていました。カワウソ家族がいたのかな？



【保護の詳細】
日時：昭和50年4月6日
午前9時ごろ
場所：九島 亀ノ浦
海岸から約20mの畑
5～6歳の成獣でメス

病気のように、やせていた。あまり動かないので箱に入れて保護。
「愛媛県総合科学博物館」（新居浜市）で剥製となり展示されています。

見逃すな！ニホンカワウソは生きている！？



宇和島市は、ブナ等の森が広がる鬼ヶ城山を代表する山々に三方を囲まれ、リアス式海岸が続く海には、大小の島々が無数にあります。平野には、四万十川支流の清らかな水を利用した水田地帯が広がります。そんな自然豊かな宇和島市には、かつてニホンカワウソが生きていた記録が多く残されていますが、現在は確実な生息確認がありません。しかし、宇和島市を含め愛媛県では、「カワウソではないか!？」という目撃情報が現在も寄せられています。

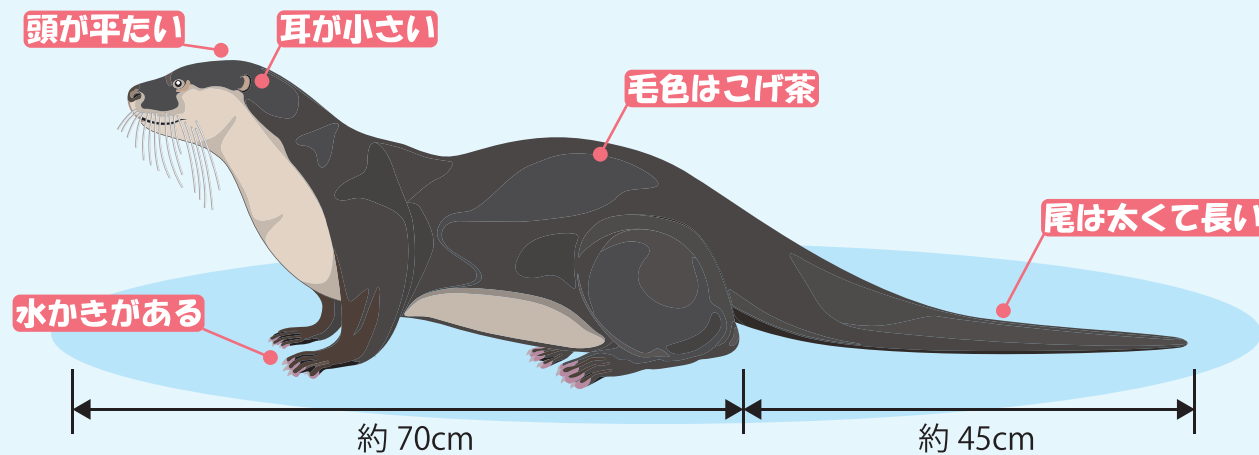
- 【目撃件数】・宇和島市のみ 6例
・愛媛県全域 13例

※ともに2012年9月から2013年12月の期間に宇和島市内および愛媛県内で目撃された情報数。
※目撃情報にもとづき、宇和島市では愛媛県と協力して現地調査を行っています。

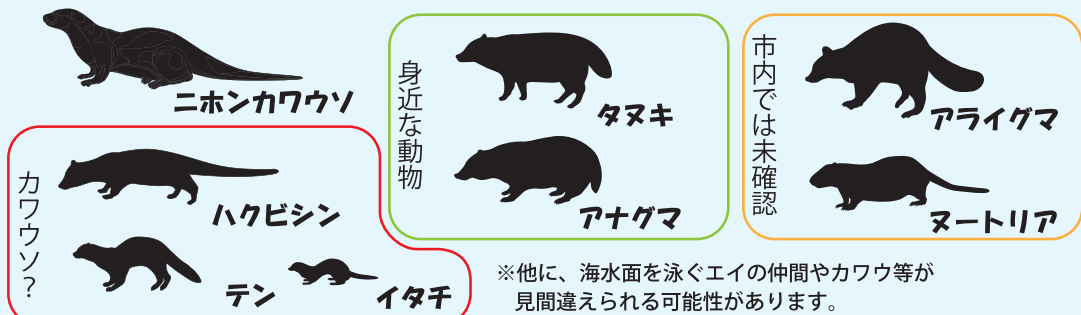
宇和島市ではニホンカワウソが生きている可能性がある限り、目撃情報等の収集を行っています！

ニホンカワウソの特徴

体は潜水するために細長く、尾は基部が大きく胴との境が不明瞭で太くて長い。頭胴長と尾長の割合は約3対2である。短足で四肢に「みずかき」がある。爪は短く耳も極めて小さい。



見間違えやすい生き物



ニホンカワウソ?! そんなときは

愛媛県立衛生環境研究所内
生物多様性センター 089-931-8757
愛媛県宇和島市
産業経済部 商工観光課 0895-24-1111

Eメールでも情報の提供を受け付けています。
QRコードを携帯電話等で読み取り、kawauso.joho.ehime@gmail.com までご連絡ください。
わかる範囲で目撃年月日、場所、簡単な状況を添えていただくと参考になります。
情報提供いただいた方には、改めてこちらから連絡さしあげる場合があります。ご了承ください。
機種により上手く読み取れない場合があります。その際はお手数ですがアドレスを打ち込んでご利用下さい。

